

「ヘンリー六世」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前には作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

過去の公演プログラム

開場記念公演 **リア王** (1998.1) 鶴山仁演出のシェイクスピア作品。

参考図書

<戯曲>

白水Uブックス ヘンリー六世 第1部～第3部 小田島雄志＝訳／白水社 1983年発行

シェイクスピア全集(全5巻) 小田島雄志＝訳／白水社 1985年発行

第1巻に「ヘンリー六世」三部作ほか5作品を収録。

シェイクスピア全集 5－史劇II 筑摩書房 1967年発行

「ヘンリー六世」第一部(小津次郎・喜志哲雄＝訳)、第二部(小津次郎・大場健治＝訳)、第三部(小津次郎・武井カナエ＝訳)、ほか「リチャード三世」「ヘンリー八世」を収録。

新修シェイクスピア全集 第十～十二巻 ヘンリー六世 第一～三部

坪内逍遙＝訳／中央公論社 1934年発行

ザ・シェイクスピア－全戯曲(全原文＋全訳)全一冊－ 坪内逍遙＝訳／第三書館 2002年発行

日本ではじめてのシェイクスピアの翻訳。

<「ヘンリー六世」プログラム>

Stratford Festival of Canada (2002)

Royal Shakespeare Company (2006)

<作品解説・ガイドブック>

シェイクスピアヴィジュアル事典

レスリー・ダントシ＝ダウン、アラン・ライディング＝著／水谷八也、水谷利美＝訳／新樹社 2006年発行

シェイクスピアを批評しあるいは後援した者から、同時代のライバルまで、エリザベス朝とジェームズ朝の演劇ブームの実態を描く。全39篇の戯曲のあらすじと要点を詳しく解説し、演劇界と映画界それぞれで採用されたさまざまな解釈を紹介する。詩人シェイクスピアの創作したソネット集と物語詩の解説がたっぷり。

一冊でわかるシェイクスピア作品ガイド37 出口典雄＝監修／成美堂出版 2006年発行

シェイクスピア劇全37本を豊富な過去の舞台写真付きで紹介。作品の見せどころ、珠玉の名台詞の紹介のほか、うんちくいっぱいのコラムも充実。主な上演リストも掲載、タイトルロール役者がひと目でわかる。

シェイクスピア・ハンドブック 高橋康也＝編／新書館 2004年発行

本書は、「言語」「貨幣」「道化」など、110項目のキーワードを手がかりに、シェイクスピアの世界をあらゆる側面から読み解く。今まで知らなかったシェイクスピアが、ここに見えてくる。

シェイクスピアの名せりふ100 英和対訳 安西徹雄＝著／丸善 2001年発行

いちど聞いたら忘れられないシェイクスピア劇の名せりふの面白さを、英語・日本語両方で味わう対訳せりふ集。「舞台」「運命」「愛」「哲学」などのキーワードで厳選した100のせりふを、劇中の状況に照らして縦横に読み解く。

岩波ジュニア新書 シェイクスピア名言集 小田島雄志＝著／岩波書店 1985年発行

「このままでいいのか、いけないのか、それが問題だ」(ハムレット)、「人生は歩きまわる影法師、あわれな役者だ」(マクベス)など、世界中の人々に暗誦されているシェイクスピアの名言を豊富に紹介し、エピソードをまじえてやさしく解説した本。

シェイクスピアとグローブ座 アリキ＝文と絵／小田島雄志＝訳／すえもりブックス 2000年発行

シェイクスピアの生きた時代、彼の偉業と共に発展していったシアター建築について、そして、グローブ座再建を夢見て試みたひとりの男の物語が、まるで芝居を一幕観ているように語られる。大人も子供も楽しめる絵本。

シェイクスピアはどこにいる？ ジョン・ミシェル＝著／著高橋健次＝訳 文藝春秋 1998年発行

「シェイクスピア作品の著書は誰か？」という問いに対する様々な説を辛口ユーモアで検証した本。

<専門書>

シェイクスピア伝 ピーター・アクロイド＝著／河合祥一郎、酒井もえ＝訳／白水社 2008年発行

シェイクスピアの全生涯、そして最初の劇曲全集が編まれるまでの史実を、巧みな筆致でつぶさに物語る一。英国が誇る稀代のストーリーテラーによる、シェイクスピア伝の決定版。豊富な訳注・図版・年表つき。

新潮選書 謎ときシェイクスピア 河合祥一郎＝著／岩波書店 2008年発行

フロイトもマーク・トウェインもオーソン・ウェルズも信奉したシェイクスピア別人説の魅力と論拠は？従来の本人説の誤りとは？陰謀渦まきエリザベス朝時代を背景に、シェイクスピアの謎めいた全体像を明快に解き明かす。

シェイクスピアの祝祭の時空 フランソワ・ラロック＝著／中村友紀＝訳／柘風舎 2008年発行

民間の曆的慣行や民間信仰、伝承、儀礼、祝祭、遊戯がいかに当時の言語習慣や表象行為の土壌となったのか、シェイクスピアをはじめ多くの劇作家や著述家、思想家の作品を通して分析する。

シェイクスピアの世界 ロブ・グレアム＝著／佐久間康夫＝訳／開文社出版 2008年発行

シェイクスピアの生きた時代、その知られざる生涯と作品、目を見張る劇場や俳優のエピソード、感動的な名せりふの数々を満載。

シェイクスピアとイギリス民衆演劇の成立 玉泉八州男＝著／研究社 2004年発行

アマチュアの余興にすぎなかった中世の演劇が、宗教改革の嵐を経て、プロの劇として独り立ちを果たし、やがてシェイクスピアの作品世界に結晶していく。そのさまを、近代初期の「虚」と「実」の闘い合いの下で、詳細かつ多面的に跡づけた、画期的なイギリス・ルネサンス演劇論集成。

新編シェイクスピア案内 日本シェイクスピア協会＝編／研究社 2007年発行

その生涯から、創作作品、上演、批評史、受容史にいたるまで幅広く網羅。協会を代表する多彩な執筆陣によるシェイクスピアへの格好の入門書。

シェイクスピアとその時代を読む 日本シェイクスピア協会＝編／研究社 2007年発行

「王権」「結婚」「国家」「債務」「出版」「暴動」―気鋭の研究者たちが、さまざまな側面から読み解く「シェイクスピアとその同時代」。日本シェイクスピア協会創立45周年記念論集。

シェイクスピア 世紀を超えて 日本シェイクスピア協会＝編／研究社 2002年発行

ジーン・E. ハワード氏の特別寄稿の論考を含め、多様なアプローチで展開する12の論文を収録。2001年に創立40周年を迎えた日本シェイクスピア協会の気鋭の研究者たちによるこれらの論考は、新たな世紀におけるシェイクスピア研究のさらなる広がりや奥深さを示す。

シェイクスピアの歴史劇 日本シェイクスピア協会＝編／研究社 1994年発行

大きく変わりつつあるシェイクスピア研究の現状を反映して、王権の概念、権力の表象、ジェンダー等をめぐるテクストの多義性の追求から旧歴史主義の再読まで、多様なアプローチによる、シェイクスピア歴史劇研究の現在を端的に示す論文集。「ヘンリー六世」のジャンヌ・ダルクに関する論文もあり。

歴史のなかのシェイクスピア

M・C・ブラッドブルク＝著／岩崎宗治、稲生幹雄＝訳／研究社出版 1992年発行

シェイクスピアはどんな世界に生まれ、不安な時代状況をどう生き抜き、舞台上にどんなヴィジョンを作り出し、人びとの想像力にどう働きかけ、歴史形成にどう関わったか？大劇作家の世界をときほぐす。

シェイクスピアの民衆世界 青山誠子＝著／研究社 1991年発行

エリザベス1世女王治世下のロンドンで、当時の民衆とともに、天国も地獄もたっぷり味わったに相違ないシェイクスピアをリアルタイムに描き出す。「ヘンリー六世」に関する章もあり。

新潮選書 シェイクスピアとロンドン 青山誠子＝著／新潮社 1986年発行

16、7世紀のロンドンにシェイクスピアは何を見、何を感じ、いかに劇化したか—作品と生涯から当時のロンドンを探り、現代のロンドンに縁の地、上演を求めて歩く。

シェイクスピアと民衆演劇の伝統—劇の形態・機能の社会的次元の研究

ロベルト・ヴァイマン＝著、R・シュワーツ＝編、青山誠子、山田耕士＝著／みすず書房 1986年発行

イギリス民衆劇の歴史、ミームス(古代の大衆演劇)に始まり、民俗劇、聖史集団劇、道徳劇を経てエリザベス時代へと至る流れを辿りながら、これらの演劇的伝統がいかに、またどれほどシェイクスピア劇を豊饒なものにしたかを跡づける書。

<エッセイ>

シェイクスピアへの旅 小田島雄志＝著／朝日新聞社 1988年発行

“世界漫遊家というのは、食後の話をさせるにはもってこいだが、その話の3分の3まで嘘っぱち…”(『終わりよければすべてよし』)かどうか、シェイクスピアの大家が沙翁の舞台をヨーロッパにたずねる抱腹絶倒の旅物語。

小田島雄志のシェイクスピア遊学 小田島雄志＝著／白水社 1982年発行

シェイクスピアの全訳を完成した小田島雄志が、その蘊蓄をかたむけて、シェイクスピアの魅力を当意即妙の語り口でくりひろげる。

<詩集>

岩波文庫 対訳シェイクスピア詩集—イギリス詩人選(1) 柴田稔彦＝編／岩波書店 2004年発行

『ソネット集』を中心に、『ヴィーナスとアドーニス』『ルークリース凌辱』などからエッセンスを対訳形式で収録。詳しい脚注も付し、詩人としてのシェイクスピア(1564—1616)の魅力を存分に堪能できる一冊。

シェイクスピアのソネット 小田島雄志＝翻訳／山本容子＝画 文藝春秋 1994年発行

青年貴族と詩人と(黒い女(ダーク・レディ))。シェイクスピアが自ら秘めた夢を歌った154曲。オールカラーの版画を添えた絢爛たる詩集。

<事典>

シェイクスピア大事典 荒井良雄・大場建治・川崎淳之助＝編集主幹／日本図書センター 2002年発行

シェイクスピアの関連図書は他にも多数ございます。詳しくはお問合せください。